

安藤耕斎

（伊那谷南画界の草分け）

本名茂一。文久二年（一八六二）

十二月八日下川路村（現飯田市川路）天龍峡に父安藤彌十郎、母かく（屋号社古地）の長男として生まれる。漢籍詩文を関島松泉に学び、書を前田龍川に学ぶ。画は南画の巨匠富岡鉄斎の弟子として師事。初めは畠潭、後に耕斎と号す。

明治三十年（一九〇七）同四十二年まで下川路村長、同村郵便局長を歴任。明治四十一年の局長在職時、日本新聞主催全国避暑地選抜で天龍峡の宣传に努め、三等入選に多大な貢献をした。

明治四十五年京都に赴き、画道に専心精進。昭和四年京都から帰郷し、以後社古地画室老學庵で制作に勤しむ。東京白木屋で展覧会を三回開くなど、中央でも活躍。昭和九年の天龍峡名勝指定にも貢献し、皇族閑院宮家に「信濃天龍峡図」を献上した。

昭和十四年（一九三九）二月三日脳溢血にて長逝。享年七十八（満七十六）。法名「老龍園耕斎玄達居士」。老學庵裏の墓地に眠る。



安藤耕斎展 出品目録

軸	松泉老樵「芙蓉峒記」之図	明治二十一年
軸	南極老人図	明治四十三年
軸	竹林の七賢山水図	明治四十三年
軸	流水去人間	明治四十四年
軸	松下談合	大正元年
軸	龍虎(書)	大正七年
軸	渓山積雪図	大正七年
軸	梅花書屋図	大正十年
軸	四法有山	大正十三年
軸	百事如意大吉	昭和三年
軸	百事如意	昭和四年
軸	古樹瑞雲兆豊年	昭和五年
軸	江山積雪図	昭和六年
軸	天龍峠図	昭和七年
軸	天龍峠図	昭和八年
軸	梅花の図	昭和九年
軸	金婚之図	昭和九年
軸	蓬菜不老仙図	昭和十一年
軸	如松之茂	昭和九年
軸	天龍峠図	昭和九年
軸	千支(午)	昭和九年
軸	金碧山水蘭亭図(蘭亭曲水之図)	昭和九年
軸	雨奇晴好	昭和十一年
軸	落款印譜	昭和十一年
軸	五岳眞形図	昭和十一年
屏風	山水之図	昭和十一年
扁額	白梅図	昭和十一年
扁額	吉祥図	昭和十一年
軸	雲抱長流春山	昭和十一年
画帳	以書作画帳	年不詳
画帳	詠画高詩	昭和五年
画帳	竹図(一年三秀)	年不詳
焼物	耕斎絵付け杯	大正十一年

平成二十六年十一月一日～二日 安藤耕斎展実行委員会